

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 大村紙業株式会社

上場取引所 東

コード番号 3953 URL <http://www.ohmurashigyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧山 光人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 八巻 和彦

TEL 0467-52-1032

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,069	7.3	229	6.6	231	7.7	146	9.5
2022年3月期第3四半期	3,792	5.5	246	29.7	250	28.7	162	25.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.82	
2022年3月期第3四半期	33.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,364	4,965	67.4
2022年3月期	7,753	5,547	71.6

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 4,965百万円 2022年3月期 5,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,571	11.9	324	27.4	317	34.6	196	51.0	53.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,561,676 株	2022年3月期	4,884,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	株	2022年3月期	72,324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,686,676 株	2022年3月期3Q	4,811,676 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続く中、行動制限の緩和や感染症対策等により、経済活動は正常化に向かいつつあります。

一方で、原材料価格や資源価格等の高騰に加え、ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症第8波の感染拡大が懸念される等、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下において、生産量につきましては、段ボールシート38百万㎡(前年同四半期比1.3%増)、段ボールケース25百万㎡(前年同四半期比0.1%増)となりました。

また、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,069百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。利益面につきましては、経常利益231百万円(前年同四半期比7.7%減)、四半期純利益146百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

販売品目別の概況は次のとおりであります。

(イ) 段ボールシート

売上高は745百万円

総売上高に占める割合は18.3%です。

(ロ) 段ボールケース

売上高は2,574百万円

総売上高に占める割合は63.3%です。

(ハ) ラベル

売上高は142百万円

総売上高に占める割合は3.5%です。

(ニ) その他(主に包装資材)

売上高は606百万円

総売上高に占める割合は14.9%です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ388百万円減少し、7,364百万円となりました。これは主に、売上債権が148百万円、棚卸資産が125百万円、有形固定資産が41百万円増加し、一方で、現金及び預金が710百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ194百万円増加し、2,399百万円となりました。

その結果、純資産は4,965百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,458,764	2,748,301
受取手形及び売掛金	1,108,372	1,257,349
商品及び製品	53,390	55,514
原材料及び貯蔵品	465,182	588,584
その他	12,371	40,428
貸倒引当金	△2,216	△2,514
流動資産合計	5,095,865	4,687,663
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	267,163	262,284
土地	1,391,532	1,391,532
その他（純額）	712,911	759,251
有形固定資産合計	2,371,607	2,413,068
無形固定資産	10,668	10,064
投資その他の資産		
投資有価証券	195,409	187,497
その他	86,149	73,111
貸倒引当金	△6,583	△6,858
投資その他の資産合計	274,974	253,749
固定資産合計	2,657,250	2,676,882
資産合計	7,753,115	7,364,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,157,989	1,408,998
未払法人税等	63,449	20,640
賞与引当金	83,521	39,016
その他	179,220	233,050
流動負債合計	1,484,180	1,701,704
固定負債		
リース債務	106,069	90,444
退職給付引当金	154,018	142,718
役員退職慰労引当金	444,025	447,664
その他	16,900	16,900
固定負債合計	721,014	697,727
負債合計	2,205,194	2,399,432

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,000	554,000
資本剰余金	566,030	566,030
利益剰余金	4,435,280	3,815,447
自己株式	△41,030	—
株主資本合計	5,514,280	4,935,477
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,640	29,636
評価・換算差額等合計	33,640	29,636
純資産合計	5,547,921	4,965,114
負債純資産合計	7,753,115	7,364,546

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,792,510	4,069,623
売上原価	2,707,863	2,996,111
売上総利益	1,084,647	1,073,511
販売費及び一般管理費	838,596	843,769
営業利益	246,050	229,741
営業外収益		
受取利息	1,018	1,018
受取配当金	4,896	5,163
受取保険金	—	2,565
固定資産売却益	1,143	330
雑収入	2,194	1,029
営業外収益合計	9,252	10,106
営業外費用		
支払利息	1,441	1,311
売上割引	2,750	2,075
自己株式取得費用	—	4,060
雑損失	290	812
営業外費用合計	4,482	8,260
経常利益	250,820	231,588
特別利益		
固定資産売却益	361	—
特別利益合計	361	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,106
固定資産除却損	3,885	6,607
特別損失合計	3,885	7,714
税引前四半期純利益	247,296	223,873
法人税、住民税及び事業税	71,712	60,175
法人税等調整額	13,273	16,883
法人税等合計	84,985	77,059
四半期純利益	162,310	146,814

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年2月10日開催の取締役会において決議した自己株式の公開買付けに基づき、2022年4月6日付けで1,250,000株を取得し自己株式が677,500千円増加し、その後、2022年8月9日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を決議し、2022年9月20日に自己株式1,322,324株の消却を行いました。その結果、当第3四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ718,530千円減少し、当第3四半期会計期間末において自己株式が一千円となっております。